

千葉市 手をつなぐ育成会だより

昨年11月18日(金)、千葉市民会館特別会議室にて、(社福)千葉県手をつなぐ育成会常務理事で、でい・さくさべ所長の佐藤滋洋氏をお迎えして「我が子のライフステージを考える」の研修会を行いました。46人の参加がありました。

佐藤所長は平成15年に法人初の生活支援ワーカーに配属されて以降、昨年4月にでい・さくさべの所長に就任される迄、地域生活支援センターふららのセンター長として相談支援のお仕事をされてきました。その豊富なご経験をもとに乳幼児期から高齢期迄の相談支援の実際をお話しいただきました。

我が子の ライフステージを考える

一 幼児期から高齢期まで
 それぞれのライフステージで
 必要な支援を知っておこう



でい・さくさべ所長 佐藤 滋洋氏

「乳幼児期」
0歳～6歳

最初の福祉との出会い方で福祉拒否反応を起こす場合もあり、初めての相談は可能な限り丁寧な聞き取りを行い、親の気持ちに寄り添って「子の障害」の受容を支援する。

「学齢期」
7歳～18歳

学校生活が主体の時期。千葉市に14箇所ある放課後デイサービス事業を利用したいという相談が多い。障害児相談支援事業所の相談員が親や本人のニーズ



「青年期～中年期」
19歳～64歳

障害者基礎年金の申請は20歳の時にした方がよい。この申請には認定精神科医の診断書が必要なので、成育歴、生活歴等、年齢毎の様子を数年のスパコンでまとめておく、初診で精神科を受診した場合でもスムーズに診断書を書いてもらう事ができる。

相談支援事業所は年金の申請は不慣れな場合もあるが、社会保険労務士等の専門家に繋いでもらう事は可能である。



「高齢期」
65歳～

同じ内容のサービスの場合は介護保険を利用する事になる為、介護認定を受ける必要がある。認定を受けても障害福祉サービスの利用は可能であり、介護保険の自己負担についても60歳から5年間、居宅介護や生活介護、短期入所の支援決定を受けていた場合軽減される。

感想
乳幼児期から高齢期迄、どのライフステージにおいても基幹相談支援センターは相談支援の中心である事がわかりました。長きにわたる相談事業のご経験のある佐藤所長が研修の最後に、「親が子の人生を考えるのと同じように子ども親の事を考えていると感じる場面が多く出会った」と話されたのが胸に響きました。

また、「相談員には福祉に限らず世の中にある全ての社会資源と障害のある人達の生活を結び付けていく役目がある」とのお話を伺い、私達親の役目もそうであるのかもしれないと思いました。

(研修部 梶川)



目からウロコ！ 肩こり解消体操講座

その肩こり何が原因？
肩を軽くして
心も軽く

2月8日(水)、稲毛保健福祉センターにて、当会事務局長で作業療法士でもある保土田朝子氏を講師に、「目からウロコ！肩こり解消体操講座」が開催されました。参加者は11人でした。

まずは保土田氏が作成された図入りの資料を見ながら、筋肉や骨などの解剖学も交えた、わかりやすい説明で肩こりになりやすい原因などを学習。その後、保土田氏



保土田氏によるわかりやすい説明で楽しく座学ができました。

参加者の日頃の身体の痛み、悩みや質問にも答えてもらいながら、生活に取り入れやすい様々な運動を知ることができました。参加者からは、運動だけでなく、最初に骨や筋肉、関節のことなどの説明を聞くことができたため、より分かりやすかった、どのように動かしたら効果的なのかを知ることができ参加して良かった、次は足や腰痛について知りたいなどの感想がありました。私もいろいろ動いているうちに、身体がぼかぼかしてきて、心もふんわり軽くなりました。

(広報部 小野塚)

によるお手本を見ながら、ちょっとした合間にできる筋肉をやわらげる動きや、フェイスタオルを使っている体操を実践で教わりました。

参加者の日頃の身体の痛み、悩みや質問にも答えてもらいながら、生活に取り入れやすい様々な運動を知ることができました。参加者からは、運動だけでなく、最初に骨や筋肉、関節のことなどの説明を聞くことができたため、より分かりやすかった、どのように動かしたら効果的なのかを知ることができ参加して良かった、次は足や腰痛について知りたいなどの感想がありました。私もいろいろ動いているうちに、身体がぼかぼかしてきて、心もふんわり軽くなりました。

(広報部 小野塚)

タオルを使って体操しました。



育成会のうごき 11月～2月

11月1日	全育連第13回権利擁護セミナー
4日	「ふれあいの家」利用団体との意見交換会
16日	千葉県障害者施策推進協議会
"	千葉県障害者差別解消支援部会
18日	研修部「わが子のライフステージを考える」研修会(P.1)
20日	第7回全育連全国大会福井大会(会場+動画配信)
24日	第48回千葉県特別支援教育推進大会
28・29・30日	各区おしゃべり会
12月2・9日	"
3日	第24回千葉県障害者福祉大会
4日	はたらく委員会ウオーキング企画(P.3)
5日	せいかつ委員会「成年後見制度について」研修会(P.2)
11日	クリスマス会(P.3)
15日	千葉県社会福祉協議会評議員会
23日	法人理事会
2月6・17日	各区おしゃべり会
7日	令和4年度後期社会参加推進協議会
8日	文化部「目からウロコ！肩こり解消体操」講座(P.4)

*ホームページ URL <https://ikusei-kai.jp/>
 随時更新しています。ぜひご覧ください。

◆二報告◆

△令和5年4月に(社福)千葉市手をつなぐ育成会の新規グループホーム「みなもとホーム」が若葉区源町にオープンします。総会で承認されました通り、当会から11月29日に50万円を寄付させていただきました。

▽令和4年8月豪雨および台風15号による災害義援金のご協力ありがとうございました。9万円を全国手をつなぐ育成会に送金いたしました。

この広報紙は「赤い羽根共同募金」の助成により発行されています。(竹村)

編集後記

◆先日、小5の息子が初めての宿泊学習に行ってきた。脱走や基礎疾患など心配なことがたくさんあり、出発前まで不安しかありませんでした。結果的に問題なく楽しめたようで何よりでした。睡眠はあまりとれなかったそうです。先生方には本当に感謝です。(宮本)

◆娘は24才です。一昨年に体調を崩し、昨年は検査入院をしました。その後、就労移行支援B型から生活介護に移行し、生活のリズムが随分と変わりました。今は体を動かし、食欲も笑顔も体重も増え、元気に活動にも参加しています。このまま穏やかに過ごしたいです。